

Salt & Seawater Science Seminar 2021 開催のご案内

2021 年度公開講演会 Salt & Seawater Science Seminar 2021 を 12 月 8 日（水）13：30 から、オンライン開催いたします。

主催：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所

協賛：（一社）日本塩工業会，全国輸入塩協会，日本特殊製法塩協会，
（公財）ソルト・サイエンス研究財団，日本海水学会，たばこと塩の博物館，
（公社）化学工学会，（特非）JDA協会，日本海洋学会，分離技術会，
（一社）資源・素材学会，（一社）環境資源工学会，（一社）軽金属学会，
（一社）粉体工学会，（一社）日本粉体工業技術協会

日時：2021年12月8日(水) 13：30～15：30（オンライン開催、Zoomウェビナー使用）

テーマ：製塩工程における海水資源回収の現状と展望

プログラム：

13：30～14：15

① 製塩工程における海水資源回収の現状と海水総合研究所の取り組み

（公財）塩事業センター 海水総合研究所次長 正岡功士
海水から塩を分離回収する製塩工程を紹介するとともに、製塩工程溶液に含まれる成分の活用および資源回収の現状と当研究所の取り組みを概説する。

② マグネシウム、カルシウム、カリウム塩の活用調査

JFE テクノリサーチ株式会社 ビジネスコンサルティング本部 調査研究部主査副部長 上原健一
マグネシウム、カルシウム、カリウムを含む工業用原料、食品添加物、医薬品原料等の関連物質について、各種文献、報告書、白書、Web 情報などを基に用途、生産量、輸出入量、価格、技術開発動向の調査結果等を紹介するとともに、調査結果から作成したマテリアルフローについて解説する。

14：30～15：30

③ 製塩苦汁から製造される水酸化マグネシウムの純度と不純物

（公財）塩事業センター 海水総合研究所研究員 峯尾隼人
市販されている水酸化マグネシウム製品の品質調査と製塩苦汁から製造した水酸化マグネシウムに含まれる不純物の低減手法について解説するとともに、今後の取り組みについて紹介する。

④ カーナライト晶析を利用した新規塩化カリウム回収方法

（公財）塩事業センター 海水総合研究所研究員 邑上泰平
製塩工場では苦汁から塩化カリウムを回収し製造している。当研究所では、塩化カリウムの効率的な回収、回収した塩化カリウムの付加価値向上に向けた高純度製品の製造手法について検討している。本講演では、塩化カリウムを回収するための新たな方法について解説する。

⑤ 製塩工程溶液を用いた炭酸カルシウム析出挙動と炭酸ガス固定化の実用性

（公財）塩事業センター 海水総合研究所研究員 中原 憬
脱塩海水、かん水、苦汁を用いて二酸化炭素と水酸化ナトリウムによる炭酸カルシウムの析出挙動と製塩工程から排出される二酸化炭素の固定化に関する実用の可能性と課題について解説する。

参加費：無料

申込方法：海水総合研究所イベント情報のページ(<https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/>)から申込フォームを開き、氏名・メールアドレス・所属をご登録ください。

ご登録いただいたメールアドレスに参加の案内が届きます。

（開催中でも申込みいただけます）

問合せ先：〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂4-13-20

公益財団法人塩事業センター海水総合研究所

Tel: 0465-47-3161, E-mail: kouenkai@shiojigyo.or.jp

